

2021年「サイバーセキュリティ月間」(2月1日～3月18日)について

- 2010年より、毎年2月1日から3月18日を「サイバーセキュリティ月間」に設定。各種啓発主体と連携し、インターネットを介してサイバーセキュリティに関する普及啓発活動を集中的に実施。
- 2021年は、感染症の状況を踏まえ、SNSや動画配信を用いたオンラインでの周知広報を積極的に実施し、地域を問わず幅広い層に訴求。
- また、サイバーセキュリティに関する意識や行動の強化に繋げるべく、1人1人が気を付けてほしいことを国民の皆様にはわかりやすくまとめた9つの標語をもとにして、様々なコンテンツを用いて発信。

認知度の高いコンテンツとのタイアップ

- ・ 『ラブライブ！サンシャイン!!』とタイアップし、様々なコンテンツを用いて発信。
 - ◆ 全体ポスター：キャッチコピー「みんなで叶えるセキュリティ！」を訴求
 - ◆ 標語ポスター：9人の主要キャラクターが9つの標語を各々担当し発信
 - ◆ パンフレット：4コマ漫画で身近な事例を扱い、9つの標語を紹介
 - ◆ 他、イベント動画(右下の欄を参照)・短編アニメをインターネットで配信
また、Webラジオでも発信
- ・ インターネット上でのアンケート結果(任意回答：1,241件)
 - 一月間を機会に意識や行動が強化された人：回答者中の約95%
例：同じパスワードを使い回していたが、パターンを変えた。/メールのURLを開かず、検索エンジンから開くようにした。
 - 一月間を機会に身の回りの人にサイバーセキュリティの重要性などを伝えた人：回答者中の約66%
例：ファイルやリンクをすぐに開かないよう家族や友人に周知した。/子供にSNSを使用する際の注意喚起をした。



標語ポスター

(例 パスワード関係、二要素認証関係)

9つのセキュリティの標語

- 1 パスワードは長くて複雑にしよう
- 2 二要素認証を導入しよう
- 3 ウイルス対策ソフトを導入して、常に最新に(アップデート)しておこう
- 4 ファイルやリンクはすぐには開かない
- 5 フィッシングサイトに注意しよう
- 6 個人情報やむやみに発信しない
- 7 情報の真偽はきちんと確認しよう
- 8 相手を傷つけるような発信はしない
- 9 「心の隙」を作らないようにしよう

情報発信の強化

- ・ 月間の開始にあわせて、加藤官房長官によるトップメッセージを発信。
- ・ NISC Webサイトで、11名の有識者によるコラム「サイバーセキュリティ ひとつと言いたい！」を発信。
- ・ 「インターネットの安全・安心ハンドブック」をパンフレットとともに全国の公立図書館に配布。
- ・ 各種啓発主体の実施する行事を、サイバーセキュリティ月間関連行事と位置付けて募集し、NISCのWebサイトやSNSで案内を実施。
→ オンライン開催を中心に127件を実施



官房長官トップメッセージ

NISC主催のイベント・行事の開催

- ・ NISC-CTF(2/17)(CTF: Capture The Flag、セキュリティ技術の競技)
各府省庁・独法等の職員がサイバーセキュリティに関する幅広い技術・能力を競うオンライン競技会を開催。
- ・ オンライン普及啓発イベント動画(2/21、28、3/6)
楽しみながらサイバーセキュリティを学べる動画を配信。
→一時、約4,000人が同時視聴し、Twitterトレンド入り。
- ・ 戦略マネジメント層向けWebセミナー(3/18)
サイバー攻撃の被害を受けた企業から被害経験を通じて得られた気づき等を講演。参加者232名。



NISC-CTF表彰式の様子

普及啓発イベント動画の様子
(コンテンツの声優によるセキュリティ講座)